

一般社団法人日本サンゴ礁学会
2020/21 年度 代議員総会 議事録

1. 日時： 2020年11月21日土曜日 10時00分～11時40分
2. 場所： Zoomによるオンライン開催
3. 出席役員： (理事) 山野 博哉, 藤田 和彦, 梅澤 有, 井龍 康文, 中野 義勝,
栗原 晴子 (監事) 鹿熊 信一郎, 野中 正法

4. 議事の経過の要領及びその結果

(1) 議長および議事録作成者の選出

互選により、議長に岡地 賢氏を、議事録作成者に久保田 賢氏を選出した

(2) 議決権総数の確認と議事の開始

出席代議員

議決権のある総代議員数	24名
出席代議員数	21名
委任状提出者数	2名
議決権総数	24名

以上のとおり、出席社員数が定足数に至ったことから、議長は開会を宣言し、下記のとおり議事に入った。

(3) 第1号議案 2019/20年度事業報告(案)について

議長は、山野 博哉 会長に本件についての説明を求めた。会長は、定款細則、賞委員会規程、学会各賞の授賞者、会長候補者・代議員選挙結果、代議員総会申し合わせ案作成および著作権規程の策定に関する詳細な報告に続き、実施事業について資料に基づき説明した。鹿熊監事より、10月28日に実施した事業監査の結果、適正であることが報告された。その後以下のような質疑応答が行われ、賛成多数を持って承認された。

○著作権規程に関する質疑応答

(岡地代議員) 会費徴収について、外国会員についてどうする予定か。

(山野会長) 会費非徴収なので今回は対応不要であったが、2021/22年度会費

から再度徴収予定なので、今年度検討を開始する予定である。

(久保田事務局長) このことを見越してすでに PayPal の登録は済ませているものの、Web 経由での入金については、Web の開発が必要な可能性があるため、その点も含めて早急に検討したい。

(藤村代議員)：電子投票の機能があるかどうか。

(久保田事務局長)：機能はないと思う。

(山野会長)：郵送ではなくオンラインでの選挙の方が望ましいと思われるので Google フォームなどの活用を検討したい。

(鈴木利幸代議員)：会議の開催についての追加（国際連携委員会）をお願いしたい（2019年11月8日）。

(佐藤代議員)：メディアからの問い合わせ内容についての詳細な報告が欲しい。

(山野会長)：TOKYO FM について、かなり専門的で細かい内容について、紹介した。

(樋口代議員)：TBS の TV 番組については、東京湾のサンゴに関する回答をしたが、取り上げられそうな感じは受けていない。

(佐藤代議員)：ICRS の延期にともなう準備状況はどうか。

(山野理事)：ブース出展は見送り、参加支援も慎重に検討する予定である。

(井龍理事)：ブレーメンの主催筋からの情報としては、あまり来てほしくないという本音もあり、オンラインでの参加を推奨するようである。

(佐藤代議員)：台湾サンゴ礁学会との連携についての詳細な状況を教えて欲しい。

(山野理事)：台湾からコンタクトがあり、前向きに検討することまで決めている。

(井龍理事)：MOU を締結し、相互訪問や合同会議等を進めれば良いと考えている。

(山野理事)：その他 ICRS の西太平洋支部の件についても、新型コロナのことがあり停滞していたが、今後前向きに検討することになっている。

(渡邊敦代議員)：モーリシャスの Ranjeet さんとともに ICRS 評議員を務めている。理事会の議論に加えてほしい。

(山野会長)：12月に井龍理事を中心に学会戦略委員会を開催し、運営方法について検討予定。

(4) 第2号議案 2019/20年度決算(案)について

議長は、山野博哉会長に本件についての説明を求め、会長は久保田賢事務局長に本件について依頼した。鹿熊監事より、10月28日に実施した会計監査の結果、適正であることが報告された。特に質問はなく、賛成多数をもって原案は承認された。

(5) 第3号議案 2020/21年度事業計画(案)について

議長は、山野博哉会長に本件についての説明を求めた。会長は、資料に基づき説明し、その後以下のような質疑応答が行われ、賛成多数により承認された。

(中村代議員)：大会運営の検討は、学会戦略なのか庶務・会計のどちらが主に検討するか明確にした方がいいのではないかと。大会の総括と次回への改善につなげられるような運営について検討して欲しい。

(山野会長)：今回のオンライン大会を運営して、まさに指摘にどおりの感想を持っている。12月の学会戦略委員会で学会運営における大会のあり方について検討する予定としている。

(井龍理事)：12月の学会戦略では、大会運営の外注化を含め、運営にかかる労力を削減し、学会の学術的な質の向上や保全活動の推進等に注力することを念頭に置いて議論したいと考えている。

(渡邊敦代議員)：ICRSについては支部を設置し、国際会議引き受ける場合には、5000ドルを上限に支援が出る。この場合支部の会員が20名以上かつ3割以上のICRS会員が必要などの要件がある。現時点の西太平洋支部で参加可能な国をどのように想定しているか。

(山野会長)：まだ、議論が始まったところなので、確認したい。

(佐藤代議員)：各委員会の任期が明確になっていないのでその確認が必要と思う。法人化前には、評議員は何かの委員会に入ることとなっていたが、そのルールがどのようになったのか明文化しておいた方がよい。

(山野会長)：検討したい。

(6) 第4号議案 2020/21年度予算案について

議長は、山野 博哉 会長に本件についての説明を求め、会長は久保田 賢 事務局長に本件について依頼した。事務局長は資料に基づき説明し、その後以下の質疑応答が行われ、賛成多数を持って承認された。

(鈴木豪代議員)：第24回大会(2021年11月)の開催方法について、オンラインやハイブリッド等の大会運営の費用が賄えるのか。

(山野会長)：第23回オンライン大会の支出額を整理し、その情報も踏まえた上で12月の学会戦略委員会で検討する予定にしている。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録作成者が署名捺印する。

2020年11月21日

一般社団法人 日本サンゴ礁学会 2020/21年度 代議員総会

議長・議事録作成者	議長	岡地 賢	㊟
	議事録作成者	久保田 賢	㊟